科目名	創造演習 A	英語科目名	Creative Pr	actice III A		
開講年度・学期	平成 27 年度・前期	対象学科・専攻・学年	建築学科・3	3年		
授業形態	講義+演習	必修 or 選択	必修			
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 30	h		
担当教員	大島隆一	居室(もしくは所属)	建築棟2階			
	堀昭夫		建築棟3階			
電話	内線 844 (大島)	E-mail	o-shima@小山	」高専ドメイン		
	内線 836(堀)		akiohori@小	山高専ドメイン		
授業の到達目標			授業到達目標との対応			
			小山高専の	学習・教育到達	JABEE	基
	教育方針	目標(JABEE)	準			
2 次元の建築図面を CAD で作成できる。						
3 次元 CAD の基本的な作図手法を説明できる。						
初歩的なプログラミングができる。						
何らかの工学的な数値計算ができる。						
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法						
目標 は、提出ノートや演習作業の CAD 図面等を、完成度と正確度により評価し、60%以上の得点で達成とする。				る。		

目標 は、提出課題の難易度および完成度,中間試験,期末試験で評価し、60%以上の得点で達成とする。

評価方法

目標 :演習前後のノート提出および演習CAD図面等の提出(100%)で評価する。 目標 :提出課題(50%),中間試験(25%),期末試験(25%),により評価する。

・目標 の成績を平均して成績とする。 および

日が ののの のがが限とすらしてが限とうと	
授業内容	
[前2時間]	[後2時間]
1週: CAD の基本 1,2(ノート提出)	1週: Scilab に触れてみる
2 週: CAD 平面図演習	2週:数学関数,[前期の終わりに提出する課題を通知]
3週: CAD 平面敷地図演習(CAD 図提出)	3週:条件文(1)
4週: CAD 平面敷地図演習(CAD 図提出)	4週:条件文(2)
5週: CAD 断面図演習	5週: 繰返し文(1)
6週: CAD 断面図演習(CAD 図提出)	6週: 繰返し文(2)
7週: CAD 立面図演習(CAD 図提出)	7週: ベクトルの計算(1)
(8週:中間試験)	(8週:中間試験)
9 週:プレゼン/画像処理/CAD 図面利用テクニック(ノート提出)	9週: 行列の計算(2)
10 週:プレゼン/CAD 図面利用図演習(プリント提出)	10 週: 図化(1)
11 週:VectorWorks による作図演習	11 週: 図化(2), 課題の中間提出
12 週:VectorWorks による作図演習(CAD 図提出)	12 週:非線形方程式を解く

14週: VectorWorks による 3次元作図演習(CAD 図提出) 15 週:CAD 総合演習

13 週: VectorWorks による 3 次元作図演習

15 週:微分方程式を解く

	(則木武碶 <i>)</i>
キーワード	CAD、3DCAD、Scilab、数値計算、データ処理
教科書	赤間世紀,Scilab入門講座,電波新聞社,2009, これは[後2時間]
	(下記、参考書を貸出し予定) , これは[前2時間]
参考書	『実務最優先Jw_cad for Windows徹底活用術 , 日本建築情報センター、エクスナレッジ』
	『はじめてのVectorWorks(セミナーテキスト)』、『VectorWorks 3Dのスタート(セミナーテキスト)』
	『CADリテラシー演習』(VecterWorks関連テキストは授業時等に貸出し予定), 以上[前2時間]
	(自習で困ったら):上坂吉則,MATLAB+Scilabプログラミング事典,ソフトバンククリエイティブ,
	2007 , (絶版のようだが図書閲覧室にある) , これは[後2時間]

13 週:連立方程式を解く

課題提出

14 週:数値積分をする

カリキュラム中の位置づけ

前年度までの関連科目	基礎数学, 微分積分 I, 線形代数
現学年の関連科目	建築設計 IA,IB、創造演習 IIIB、微分積分 II
次年度以降の関連科目	建築設計 IIA,IIB、応用数学、卒業研究(意匠・構造・環境)
\= \h = +=	

連絡事項

- 1.リポート作成や卒業研究・設計等でのコンピュータの利用頻度が高いので、目的意識をしっかりもって授業に あたること。
- 2.建築CADは基本事項と応用を短期間で学ぶことになるが、もっと身につける必要があると感じた学生は積極的に 自己学習を進める。
- 3. コンピュータ利用が社会的にも必須であり、それを自分なりの活用ができるようになって欲しい。
- 4.プログラミングはとにかく自分でやってみる事が大切である。情報科学教育研究センターのパソコンもしくは 個人パソコンを使って果敢に取り組んで欲しい。社会に出てから、末永く君達の武器になるのだから。
- シラバス作成年月日 平成 27 年 2 月 27 日